

1 経緯

- ライブサイトは、大会の祝祭の雰囲気盛り上げ、都民・国民、世界からの来訪者を歓迎する都市活動プログラムの中核であり、都は、組織委員会と共同で実施
- 都は、基礎的な調査や、リオ大会・平昌大会中のライブサイトを通じた知見を蓄積し、組織委員会とともに、2020年に向けた検討を実施
- 今後、関係機関との調整を進めていくため、今般、都としての基本的な考え方を取りまとめた。

2 ライブサイトの概要について

(1) ライブサイトの位置づけ

- 競技会場外で、チケットを持つ人も持たない人も誰もがライブ中継を通じて競技観戦を楽しみ、大会の感動と興奮を共有できる場所
- 競技観戦以外にも、スポーツ体験、東京・日本の文化発信、大会パートナーの出展等を通じて多種多様な催しに参加できる場所

主な実施内容



競技のライブ中継



スポーツ体験



文化の発信



大会パートナー等の出展

(2) 都内のライブサイト

① 都が実施するライブサイト（詳細は右ページ3を参照）

- 都は、組織委員会と共同でライブサイトを実施
- 8か所を候補地として、今後、関係機関と調整

② コミュニティライブサイト（区市町村が実施主体）

- 組織委員会が検討中の、地方自治体が実施できる枠組み
- 区市町村の希望により実施できるよう、都が組織委員会や放送権者と調整

(3) 被災地でのライブサイト

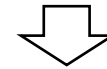
都が、岩手県、宮城県、福島県及び熊本県において実施

3 都が実施するライブサイトについて

(1) 都内候補地の主な要件

過去大会の事例や、リオ・平昌大会に合わせて開催したライブサイトでの知見を踏まえ、東京2020大会時の実施に必要な要件を整理

- 大規模イベントが長期間実施可能な都内の公園・広場・公開空地等（利用可能面積5,000㎡以上）
- 都内及び都外からアクセスしやすいこと
- 日常的な人流・賑わいがある場所
- 会場確保の費用ができるだけ少ないこと
- 競技会場や文化等施設に近いなど、地域特性があること



(2) 8カ所の候補地

都立公園4カ所に加え、ターミナル駅周辺3カ所と臨海部を候補地として抽出
各候補地により利用可能面積や、立地特性等が異なるため、それぞれの実施可否や実施規模、内容等を今後個別に検討していく

- 都立代々木公園
- 都立井の頭恩賜公園
- 品川新駅（仮称）前用地
- 都庁都民広場
- 都立日比谷公園
- 都立上野恩賜公園
- 池袋西口公園（東京芸術劇場前）
- 臨海部（青海地区等）

※競技会場が集積しているため、競技運営への影響を考慮し、実施場所や内容の検討を要する。

(3) 今後の主な検討事項

- 実施スケジュール
- 会場や地域特性を踏まえた実施内容
- 警備や暑さ対策など、安全で快適な環境づくり
- 大会パートナーや多様な団体との連携

4 今後の進め方

- 今後、関係機関と連携・調整し、実施内容等について検討
- 平成30年秋頃には、組織委員会とともに、都内及び被災地におけるライブサイトの基本計画をまとめる。